



## 故郷を離れて55年

新14回生 池田 國昭

海賊と呼ばれた男の会社に入社が決まり、希望と一抹の不安を胸に家族らと別れを惜しみながら青函連絡船に乗って、函館を発つたのが55年前、今でもドラの音を聞き、虹色のテープをしつかり握って故郷を後にしたのが、つい最近のことのように思い出します。

あれから半世紀が過ぎました。サラリーマン人生は転勤族として、42年間で10回（八戸、室蘭、東京、沖繩、京都、熊本、名古屋、札幌、東京、名古屋）渡り歩いてきました。

いずれの街も思い出はたくさんありますが、特に思い出が強いのが沖繩と熊本です。「おふくろ今度沖繩に転勤になった」と言うと、母は、「渡り鳥でも飛ばないとどこに行くんだね」と言ったのを覚えている。大正生まれの母は、沖繩は遠い異国の地に思ったようです。

沖繩は日本有数のリゾート地、紺碧の空、透明な海、亜熱帯気候。夏は名古屋のほうが熱い、何より人情に厚い。人間が素朴で、道産子との相性が良い。仕事でよく、「池田さんは『うちなんちゅう』ね」と、よく言われました。沖繩の方言で沖繩の人の意味で、仲間だよと言うことです。反対語は『やまとんちゅう』で本土の人のことです。

今も、3人の子供は「沖繩は良かった。もう一度行きたい」と言っています。7歳、4歳、1歳の時ですからよく海に遊びに行きました。遠浅で熱帯魚と戯れた思い出が強いでしょう。

それと熊本は、風光明媚、大自然、阿蘇山、天草、球磨川、水が美味しい（お酒が旨い）玄界灘に近く魚が旨い、都市計画ができていて地域区分が鮮明（住宅地域、教育地

域、繁華街）肥後もつこす（強情な熊本の男性を言う、打ち解けるとよい）の人が多く素朴な方が多いです。熊本を起点に長崎、佐賀、福岡、大分、宮崎、鹿児島（種子島を含む）の九州全県を旅行しました。熊本は今年4月大きな地震がありました。知人の方たちも被災しました。悲しいことです。でも熊本は大好きです。がんばれ熊本！

サボッテ土手に寝転んで友と将来の夢を語ったことを思い出します。劣等生でしたね。

昨年新幹線で帰郷しました。人口26万5千人、新幹線が延長され観光都市函館は益々発展が期待されていますがこれからどうなるのでしょうか？

現在住んでいる名古屋は25年目になり故郷より長くなりました。人口230万人、日本列島の中心部にあるので北や南に行くのにも程よい距離にあります。大いなる田舎と言われますが私は好きです。スポーツが盛ん（野球、サツ

カー、バスケットボール）、美術館が多い、何よりも街に活気があります。

この夏、名古屋市が調査した8大都市、行きたくない町ランキング1位でした（東京、札幌、大阪、京都、神戸、福岡、横浜の在住者に聞いた）。見るところない、美味しい食べ物がない等々ですが？

私は8都市に住んでもいいし、旅行にも行きましたが名古屋は他に負けていないと思います。住めば都、私は気に入っています。

これからも毎夏元氣なうちは故郷に帰りたいと思います。

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングをしますが、何故かしら授業を

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを

お袋に会う、同級生に会う。五稜郭公園でウォーキングを



沖繩の街並



名古屋の街並